

「ふくい脱スマホ高校生サミット」開催！！

～ 県内36高校、約100人が集いサミット～

睡眠障害や依存症などのスマートフォン利用の弊害が指摘される中、高校生自らがスマートフォン依存からの脱却や時間の有効活用を主体的に考える『ふくい脱スマホ高校生サミット』が県庁正庁において初めて開催されました。

同サミットには、県立・私立36校の代表生徒や教員ら約100人が集い、スマホの利用状況と課題や対策について発表し、意見を交わしました。

各校が行った事前アンケート調査では、「ネット上で知り合い、実際に会った。」というものや「半分以上の生徒が、校外ではほとんどの時間でスマホを触って過ごす。休日は20時間。」といった回答をする生徒がいることなどを紹介しました。



また、今後の対策として、「午後11時以降はLINE（ライン）をしない。」「起床後30分、就寝前30分はスマホを触らない。」といった自身に合ったルール作りを訴える声が相次ぎました。

同世代のスマートフォン依存が目立つ状況を踏まえ、「勉強の時間が奪われる」といった意見が出た一方、「調べ物に不可欠」などと肯定的な見方も示されました。



参加者は、勉強にも活用できるスマホの便利さを認め、一定のルールを守った上で共存していくことが大切との結論で一致し、スマホに使いすぎていた時間は「今しかできない、進路や目標を実現するための勉強やスポーツ、人間力を高めるための読書、自然や芸術に触れる直接体験などに使う」とする共同宣言を採択しました。

参加者は、学んだ内容を学校に持ち帰り、ほかの生徒に伝えることとしています。

【本情報は、8月6日付け、中日新聞記事等を引用しています。】

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ8月「祖先に感謝し、郷土の歴史を知ろう」

「青少年育成の日」推進テーマ8月「地域社会活動に参加してふる里を見直そう」